

2026年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 046	提案機関名 湘南漁業協同組合
要望問題名 ダンベイキサゴの増殖に係る調査・指導について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 <p>当漁協では、藤沢支所で砂浜域における貝類の漁獲を続けてきました。中でも、ダンベイキサゴ（ナガラミ）は重要な資源として、最盛期には年間20トンもの漁獲をしていました。しかし、近年は漁獲が激減しており、試験操業をしてもごく少量の漁獲しかない状況が続いています。</p> <p>ダンベイキサゴのようなデトリタス（海底土の有機物）等を食する貝類は、海藻が減少する磯焼けの影響は受けなため、現在の磯焼けが進行した相模湾においても条件さえ整えば増殖可能ではないかと推察します。</p> <p>については、ダンベイキサゴを中心とした貝類の資源状況の把握と有効理由のための資源管理手法について検討していただきたい。</p>	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	水産技術センター	担当部所	相模湾試験場
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 <p>水産技術センターでは、普及担当がハマグリ資源増殖に係る普及指導・調査を実施しており、ハマグリ稚貝調査の際にダンベイキサゴの出現状況についても把握してまいります。また、ダンベイキサゴの生態に関する文献や知見を収集し、出現状況と併せて地元漁業者に情報提供してまいります。</p> <p>また、資源の有効利用や管理手法については、資源の実態や関係漁業者の意向を踏まえて検討、助言してまいります。</p>			
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			